

三四二四番

下野しもつけの 三霧みかもの山やまの 二櫓ならのす まぐはし見ろは
誰たが笥けか持もたむ

三四二五番

下野しもつけの 安蘇あその川原かはらよ 石踏いしふまず 空そらゆと来きぬよ
汝なが心こころ告れ

三四二六番

会津嶺あひづねの 国くにをさ遠とほみ 逢あはなはば 偲しのひにせも
と 紐結ひもむすばさね

三四二七番

筑紫つくしなる にほふ見故こゆゑに 陸奥みちのくの 香取娘かとりをとめ子の
結ゆひし紐解ひもとく

三四二八番

安太良あだたらの 嶺ねに伏ふす鹿猪ししの ありつつも 我あれは
至いたらむ 寝処ねどな去さりそね